

中津川市総合計画審議会
第5回 教育・文化スポーツ・福祉・医療部会要旨

平成25年12月2日(月)
午前10時30分開会

部会長あいさつ

(加藤 出部会長) 11月19日に農業委員会会長の田口委員が亡くなられたのでご冥福をお祈りいたします。

1. 10月31日開催の「三役・部長会・副部長会会議」の報告

(加藤 出部会長) 10月31日開催の三役・部会長・副部会長会議の報告をします。

31日の会議の結論は、あとをどう進めるかという議論がされ、それをもとに事務局主導の下でコンサルに将来都市像以外の構想を図柄にしたようなものや施策案の体系図を描いてもらい、それを部会で漏れや齟齬がないかを確認したうえで、審議会の全体会に持っていくことで合意した。

今後のスケジュールについて、12月末までに審議会の最終答申案を出して、そのあと行政のほうで肉付けをするための作業をする段取りになっているが、逆に言うと2月20日に議会に議案送付して行きたいという考え方があることから、1か月半の肉付け作業やパブリックコメントの反映を読むと、12月末までに審議会として最終的な答申案を出してもらわないと間に合わないというスケジュール案が事務局から配布された。2月の議会に提案していくためには最終答申は12月末までに出さないと間に合わない状況なので承知しておいてください。

それから部会の役割について議論があり、三役及び部会長会合が担うことになっている基本理念と政策分野別体系の取りまとめの準備作業的依頼が会長からあったが、作業は事務局主導の下にコンサルを活用したほうがいいのではないかと提案があり、会長もそうだと言われた。

産業部会では基本構想の骨子案と事務局がつくった政策の分野別の意見書の言葉遣いのチェックをするという取り扱いとなった。産業部会や防災・環境部会は終わっており、残っているのはこの部会だけなので、できれば今日まとめていきたい。

市民アンケート・グループインタビュー意見の報告

(加藤 出部会長) 市民アンケートとグループインタビュー意見の報告をお願いします。

～事務局 資料説明～

(加藤 出部会長) これをもとにこれから説明する基本構想の骨子案に市民やいろんな団体の意見が反映させてあるということなのでお願いします。

2. 基本構想原案についての検討

(加藤 出部会長) 基本構想の骨子案について説明願います。

～事務局 資料説明～

(加藤 出部会長) 皆さんの意見や市民の意見がこの基本構想骨子案に反映されているので、骨子案について意見をお願いします。

(丸山輝城委員) 1つのことに対してキーワードはたくさんあると思うが、それをぱっと見て結び付けるので空虚なものしかできない。せっかく今回これだけの時間をかけて多くの人が参画したのにできるものは標準的なものしかできない。ある面ではやむを得ない部分もあるが、ちょっと言葉が貧困だと感じた。「自然、景観、水」は全国どこのまちでもあるし、この前の部会でも中津川の特徴が出たが、同じような中山間地のまちでもっときれいなところもあるだろうし、それをキーワードにしたいというならそれはそれで総意として持っていけばいいと思うが、「多くの子どもたち」は「すべての子どもたち」だと思う。この辺のところが非常に貧困であるということと、地域医療の問題と公立病院の問題を総合計画にどう反映させるかという前に、行政としてどうしたいかが出されていない。多分これを出せばリコール問題になるだろうと一般的には言われている。公立病院はどうあるべきかとか、アンケートに商業振興とか大型モールとかいろんな意見があるが、これはこれで意見が出たという程度のものでみんなで参画しようということだけでいいのではないか。ただこうあるべき論とこうなりたい姿をもう少し強くもっていかないといけない。そのことの中でこれだけの時間をお互いに使ってきたわけだし、いろんな思いを玉石混交かもしれないが披歴してきたと思う。その中で今回の総合計画の答申に際してそれぞれの想いとそれぞれの足跡は必ず残すようにしていくべきだと思う。せっかくそれぞれの意見を開陳したわけだけだから、意見を付録として付けるべきだろうと思う。異質な意見まで全部入れるということではなく、特徴ある意見は足跡として残していくという問題。あるいは幼稚園、保育園の問題等で昨今マスコミでいろいろ出てくるのは、幼稚園は教育をしているのに保育園は教育していないとかいうようなことが出てくる。これを公立でやるのか民間でやるのかは別として、トータルとして子どもたちの対応を打ち出していくべきだと思う。コンサルに委託してある程度は出ていると思うが、言葉にもっとインパクトを与えていかないと、10年前も20年前も一緒だと思う。やむを得ない部分があるがその辺をどう修正していくかという問題が残されていると思う。

(加藤 出部会長) 将来都市像の骨子案はこういう言葉しかないのかなと思うが、2ページにA案、B案があるのでこの辺の意見をお願いします。

(小池委員) みんなで作り上げる意味合いと活力、先を見て創造してみんなで創っていくという意味で言うとA案のほうがインパクトが強いし、このことを私たちが審議したことを含めて行政がいかに実施するかが大きなポイントになると思う。私

はAがいいと思う。行政が12年後に達成感が味わえるように取り組んでもらうとこの言葉がいいと思う。

(安藤広子委員) 活力という意味ではいろんな部会が活力、活気あると出してきているのでA案もいいかなと思うが、人と自然が輝くとは説明に育むというところが人を育てることにも関係するかなということと、「共生のまち」に福祉の部分も垣間見られるのかなと思う。A案は説明に協働が入っているし活力があって作らないとという、元気な人とか産業都市を目指すにはすごくいいかなと思うが、私は説明を見たときには育むとか和が福祉の部分も見出すかなと思う。他の部会に活気とあるので活力というのも捨てがたい。「活力創造都市」というとがんばらなきゃというプレッシャーがある。

(原 光彦委員) A案かB案かと言われるとA案だが、A案もB案もどちらかというところのよう部分があるので、これからの12年間を作るならもう少しインパクトのある文言を一番最初に持ってきたほうがいいと思う。

(原 善一郎委員) 短くコンパクトにしたほうがいいと思う。A案はちょっと長い感じがする。

(丸山輝城委員) もう少し短くなるように、A案とB案を混合にしたほうがいい。B案を主流にして「人と自然を磨く」とか私たちが磨かれていくまちというものがほしい。そしてみんなが協力してそして創造都市と。「人と自然が輝く」というのは全国どこでも一緒のような気がするので、B案を修正して「活力」「磨く」。それから教育でも子育てでも産業でもすべて一流という言葉をそこかしこに入れる努力をしたいと思う。

(加藤 出部会長) A案とB案2つの案があるが、今の意見を反映してもらって一つにするという考え方でいいか。これのどちらかと決定するのか。

(木村企画財務課長) 今日の意見はまとめて部会長に提出します。

(加藤 出部会長) 一長一短があるように見えるので意見が出たということをしかり反映したキャッチフレーズを作ってもらって、それで全体会議あると思うので、その辺でしかり確認してもらうことでよろしいか。

(小池委員) 参考までに他の部会の意見はどうなっているか。

(木村企画財務課長) 産業部会はいくまでもご意見ですがA案はより能動的で積極的なイメージを受けて、B案は静かな感じを受けるということでした。好感が持てるのはA案だという意見がありました。

防災・環境部会はA案、B案のどちらがいいという意見は出ませんでした。A案、B案ともに無難なところが出ているという話でした。

(加藤 出部会長) ここはいろいろ意見があったのでしかりまとめてもらって、できるところは反映していきたい。短い中でインパクトのあるようなキャッチフレーズを。

(小池委員) 今、三人三様の意見が出たので、ある程度絞らないと難しいと思う。部会としてA案を主体にするのかB案を主体にするのかある程度の方向性を出さないと事務局も困ると思う。

(加藤 出部会長) A案の「いきいき」はどう感じるか。

- (小池委員) 「いきいき」は輝いているという意味にとることができる。活気があるという意味合いもあると思う。
- (安藤広子委員) 「みんなで創る」と「創造都市」は創るという字が2つ入っているのが気になる。それからリニアが来ることによってみんな活力ができるだろうという希望を持って向かうのであれば、インパクトを強いものを出すというのも課題に挙げてもいいのかなと思うが、時間がないのでA案かB案を選ばないといけないので、私はどちらでもいいが両方ごちゃ混ぜにするとか。
- (丸山輝城委員) キャッチコピーなのでここで多数決でと言われても、両方優れているかと言えば首をかしげるので、出てきた意見でもう1回知恵を絞って来いと。私はここで多数決で決めるなら、そんな問題ではないので棄権する。部会としての見解ということはあるかもしれないが、かなり相反した意見があるわけだからもう一ひねりできないか。
- (加藤 出部会長) A案とB案の大事なところだけとってキャッチフレーズを作るとすると「人」は確かに必要だと思う。「自然」は歴史・文化とかいろいろ含めたものが入ってくるので必要だし、「産業」「共生のまち」「活力」は大事な言葉だと思う。「人・自然・産業が共生する活力ある中津川」というキャッチフレーズでもいいと思う。今日出たのを1回コンサルに出してもらって、他の部会でどちらでもいいというところもあるし、他の部会とこの部会の意見聞いた中で最終的にまとめてもらえばいいと思うがどうか。
- (木村企画財務課長) 今出ました意見を部会長、副部会長に確認していただいて、次回の全員総会がどう進行されるかわかりませんが、こういった意見を報告するようなことが盛り込まれるようであれば、そこで1回出して、そこでもう1回コンサルに一ひねりさせると審議会全体の意見が出されれば、それをコンサルに出して一ひねりさせるということで進めさせていただくとありがたいと思います。
- (丸山輝城委員) そうするとそこから始まりになってしまうので、今出た意見を早目にコンサルにぶつけたらどうか。会長と1回協議して、全然意見の出ない部会もあったわけだしそれからどっちこっちという意見があった。
審議会はこれでファイナルか。
- (木村企画財務課長) 事務局はそこまでわかりません。
- (丸山輝城委員) ただ事務局の三役会のときの言い方だと年内に終結と言っているから、それを今度審議会をやってもう1回年内にできるのかどうか。それは会長と相談して、あるいは三部会長と協議して進めてほしい。こういう意見出たがどんなものかと。やらないと言われればそれでいい。採決をとる話ではない。
- (加藤 出部会長) 3部会の意見が出たのでそれを集約してもらって一つのキャッチフレーズを作ってもらって、それを全体会議で諮ってもらえばいいのではないかな。
- (木村企画財務課長) 会長と相談します。
- (加藤 出部会長) それではそのようにお願いします。

教育・文化スポーツ・福祉・医療部会が考える分野別施策に関する意見書案について説明願います。

～事務局 資料説明～

(加藤 出部会長) 修正点があればお願いします。

(小池委員) 4ページの「教育に対する意見」で、「教育に対してする」の「する」の意味は。

(木村企画財務課長) 事務局の単なる間違いです。「子育てや教育に対しビジョンを形成された」です。

(小池委員) 5ページ「高齢者福祉」の2行目の意味が理解しにくい。

(丸山輝城委員) これは誰かの発言か。これは今すぐ検証すればいい。

(木村企画財務課長) 前段の「学校がなくなると初めて高齢者が自分の地域を大事にして」というのは現状こういう事例があったのではないのでしょうか。発言を忠実に書いていますので。ここで事務局が手を入れてしまうと事務局誘導と言われてしまうので、ここで皆さんのチェックを入れてもらうために出しています。

(加藤 出部会長) 昨夜のテレビでやっていたが、学校がなくなって閉校しているところがあって、学校がなくなって寂しくなると衰退していつてしまうと。だから高齢者が自分たちが学んだ学び舎を大事にしていくという番組をやっていたので、ここで言っているのはそういうことかなと思う。

(小池委員) 文書をうまくまとめたらどうか。

(加藤 出部会長) 高齢者と子どもの交流の部分を謳ってもらえればいい。これは持ち帰ってまた意見を出してもらえばいいのか。

(木村企画財務課長) 前回部会が開催できませんでしたので、今日まとめていただくとありがたいです。

(小池委員) 5ページの「スポーツ振興」で「各競技団体の競技力の向上を図られたい」とあるが、体育協会を中心としてそれぞれの団体がやっているのを「支援」するのではないか。これだと市が主導になる。

(木村企画財務課長) 「支援」になります。

(加藤 出部会長) 「支援」でいいと思います。

(小池委員) 6ページの1行目の「若年層の選手力強化を図られたい」とあるが市が主体でやることではないので「図ることに支援されたい」にしたほうがいいと思う。

(加藤 出部会長) そのように修正します。

(丸山輝城委員) 「乳幼児教育」でよくわからない文章になっている。こういう具体的な言葉がどこから出てきたのか。心情的にはわからないでもないが。

(小池委員) たまたま坂本で幼稚園と保育園を含めて耐震化の話があつてつくられることになってきているので、モデル的という話をしたことがあると思う。坂本だけ統合してというのではなくて、中津川市全体の中で人口減少を含めて周辺部のところで幼保一体のことを言ったことはあるが。地区名は除いた方がいい。

(丸山輝城委員) 5か年計画とか中期計画を早急に策定せよという話ならわかるが、統廃合をせよとかはそれぞれの意見があると思う。

それから待遇についてあるが、例えば私どもの保育園に内定していた者が市の保育園に決まれば市の職員になっていく。ということはやっぱり楽だし待遇もいい。ただ政府は施設をつくれれば待機児童が減少するということで十数年やってきて、やっと今度の内閣は保育士を強化しない限り待機児童は減らないということで、民間の保育園の保育士に対して期末手当で平均7万円出すことになった。いかに民間の保育士の労働が過酷かと。ということは0歳とか1歳は、これがいなくなってしまうと0歳とかは3人で1人の保育士の配置が必要なので、募集をしても応募がない園と募集はしないで頼まれても入れませんという園との格差が出てきている。

(加藤 出部会長) 坂本と特定しているのはよくないと思う。

(小池委員) 待遇改善を謳うのはいかなものかと思う。内容を知らない人はかなり差があると思う。ここは削ってもいいと思う。

(加藤 出部会長) 修正することによってよろしいか。

～異議なし～

(加藤 出部会長) 他に意見ないので、修正の部分で修正してこの部会の意見として出したいと思います。

3. その他

(加藤 出部会長) その他に入ります。他の部会は5回で終了したので、この部会も皆さんの意見をいただいたので、これをもって部会を閉じたいと思う。あとは全体会議とか部会長、副部会長会議など設定されているので、そこにまとめをお願いしてこの部会は今日で閉じたいと思うがよろしいか。

～異議なし～

(加藤 出部会長) 本日をもって教育・文化スポーツ・福祉医療部会を閉じますのでお願いします。

(木村企画財務課長) メールでお願いしていますが、12月10日10時から健康福祉会館多目的ホールで全体会議を開催しますのでお願いします。

(加藤 出部会長) 5回にわたっていろいろ意見をいただいて、何とかこの部会を終えることができたので、皆さんに感謝申し上げたいと思います。ありがとうございました。

午前11時40分 閉 会

平成25年12月9日

教育・文化スポーツ・福祉・医療部会

会長 加藤 出